

[平成21年度の主な事業です]

【スクールバス購入事業】〈事業費 2,554万円〉
 児童生徒が安心して安全に通学できるようスクールバスを2台購入しました。



46人乗り

29人乗り

【地域づくり交付金事業】〈事業費 230万円〉
 それぞれの地域が一丸となり特色を活かした事業を計画し、町民の方々と役場職員が協力しあい地域づくりに取り組んでいます。



【豊齢者大学】〈事業費 12万円〉
 高齢者の親睦を図る事を目的とした陶芸教室や講演会などを行い、みなさんいきいきと事業に取り組んでいます。



【保育所運営事業】〈事業費 5,029万円〉
 明るく元気で豊かな人間性を育むよう保育所事業の充実を図り、湯原保育所・関保育所を運営しています。



[平成21年度の財政健全化判断比率]

財政健全化判断比率	
実質赤字比率	- 普通会計の赤字額が町の標準財政規模に対してどの程度の割合になっているか示す指標です。
連結実質赤字比率	- 全会計の赤字額が町の標準財政規模に対してどの程度の割合になっているか示す指標です。
実質公債費比率	11.1 普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率です。
将来負担比率	- 普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。
資金不足比率	- 簡易水道、公共下水道、診療所の各会計で資金不足額の事業規模に対する比率です。

※ 数値が入っていない部分については、七ヶ宿町は黒字であったため指標として現れませんでした。
 ※ 標準財政規模・・・自治体が、標準的な状態のとき、通常収入される経常的一般財源の規模のことを表します。
 平成21年度の町の標準財政規模は、15億5,807万円です。

今回は、平成21年度の決算の状況をお知らせしました。
 平成20年度と比較すると建設事業などが増加したため、決算額においても増加となりました。町の財政は今のところはやや健全な状態にあります。一部では「長引く景気低迷も底はついた」とは言われていますが、自主財源である地方税は年々減少し先行きの見えない経済情勢は依然として続いています。また、経済対策と称した国の施策による多額の国債発行など、依存財源割合の高い本町にとっては、予断を許さない状況は続くものと思われまます。そのためにも、今は大丈夫だからと気を緩めることなく、将来的な健全財政の維持と住民サービスの低下を招かないためにも、僅かな歳入を見のがさず、日常の無駄を排除し、社会情勢の変化に柔軟に対応できる財政基盤の構築を常に心がけていかなければなりません。

七ヶ宿町のホームページには随時財政に関する情報を掲載していますのでご覧ください。

担当：総務課 三上、二関

ホームページアドレス <http://www.town.shichikashuku.muyagi.jp/>

七ヶ宿町の平成21年度決算の状況をお知らせします

みなさんから納めていただいた税金や国・県からの補助金がどのように使われているかをお知らせします。
 今回は、平成21年度の一般会計及び9つの特別会計の決算が8月の定例議会で認定されましたので、普通会計（一般会計・町営バス特別会計・介護サービス特別会計）を中心に概要をお知らせします。

平成21年度に普通会計において町に入ったお金（歳入）は、23億9,070万円で、町が使ったお金（歳出）は、23億2,460万円でした。前年度と比べると歳入は2億6,870万円の増（プラス12.7%）、歳出は2億6,030万円の増（プラス12.6%）となりました。歳入の前年比が増となった主な要因として、国の経済対策の臨時交付金による国庫補助金が大幅に増えたためであり、また、歳出の増となった主な要因は、南蔵王大橋耐震補強工事や臨時交付金による施設改修工事、スクールバス購入などの事業が増えたためです。

決算の状況

歳入	
地方税	5億5,439万円（↓） 町民税、固定資産税などみなさんから納められた税金です（ダム交付金も含まれます）。
地方譲与税・各種交付金	6,697万円（↓） 自動車重量譲与税及び地方消費税交付金や利子・配当にかかる税の一部が町に交付されたお金です。
地方交付税	9億7,403万円（↑） 地方税の収入が少ない団体に財源を保障し、一定の行政サービスを提供できるように国から交付されたお金です。普通地方交付税と特別地方交付税があります。
国県支出金	3億6,945万円（↑） 国から特定の目的のために支出されるお金です。経済対策臨時交付金も含まれます。
繰入金	1億3,125万円（↑） 財源不足を補うために基金などから補てんしているお金です。減債基金、振興基金などが含まれます。
繰越金	3,769万円（↑） 前年度から持ち越したお金です。
地方債	1億5,870万円（↑） 町が財源を確保するために借り入れたお金です。
その他	9,822万円（↓） 町の施設使用料や町営バスの使用料・中小企業等への貸付金の元利収入などのお金です。
合計	23億9,070万円（↑）

歳出	
人件費	4億8,678万円（↓） 町長や議会議員の報酬、職員の給与、共済組合（社会保険）の負担金などになります。
物件費・維持補修	3億1,765万円（↑） 物件費は電話代や郵便代、燃料費、光熱水費、消耗品費、委託料などになります。維持管理費は町が管理する公共施設等を維持するための経費になります。
補助費・扶助費	3億0,728万円（↓） 補助費は各種団体への補助金、仙南広域行政事務組合や公立刈田総合病院等への負担金になります。扶助費は生活するための社会保障給付金、医療費助成などになります。
普通建設事業費	4億0,633万円（↑） 南蔵王大橋耐震補強工事やスクールバス購入などに使われたものです。
積立金	1億3,976万円（↑） 町の貯金で財源不足が生じた時の蓄えとして、財政調整基金などに積み立てたお金です。
出資金・貸付金	4,847万円（↑） 民間等に対して必要な資金の貸し付けを行うためのものです。
繰出金	3億2,568万円（↓） 国民健康保険、診療所、介護保険、老人保険、後期高齢者医療、簡易水道、公共下水道などの特別会計に補てんしたお金です。
公債費	2億9,265万円（↓） 町が財源を確保するために借り入れたお金の返済金です。
合計	23億2,460万円（↑）

※（ ）内の矢印は、平成20年度決算と比較しての増減を表しています。

歳入から歳出を差し引いた実質収支は… **6,610万円の黒字となりました**